

2025年3月期 中間決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月14日

上場会社名 株式会社エスピーオー 上場取引所 東
 コード番号 5620 URL <https://www.spoinc.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)中田 紀廣
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)有堀 雅樹 (TEL) 03(3563)1680
 中間発行情報提出予定日 2024年12月27日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期中間期の連結業績(2024年4月1日~2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	827	△14.9	△112	—	△121	—	△104	—
2024年3月期中間期	972	—	31	—	27	—	26	—

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 △91百万円(—%) 2024年3月期中間期 27百万円(—%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
2025年3月期中間期	円 銭 △67.29	円 銭 —
2024年3月期中間期	16.93	—

- (注) 1. 当社は、2023年3月期中間期においては、中間連結財務諸表を作成していないため、2024年3月期中間期の対前年同期増減率を記載しておりません。
 2. 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
 3. 当社は、2023年10月31日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っておりますが、2024年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり中間純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	2,028	1,302	64.2
2024年3月期	2,250	1,393	61.9

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 1,302百万円 2024年3月期 1,393百万円

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	0.00	0.00	0.00
2025年3月期	0.00		
2025年3月期(予想)		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
通 期	2,080	9.3	148	—	140	—	85	—	54.63	
	~2,240	17.7	~250	—	~242	—	~155	—	~99.88	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	1,555,900株	2024年3月期	1,555,900株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	一株	2024年3月期	一株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	1,555,900株	2024年3月期中間期	1,555,900株

(注) 当社は、2023年10月31日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っておりますが、2024年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人の期中レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、インバウンド需要の拡大や雇用・所得環境の改善等により個人消費が増加したことで、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、資源価格の高騰や為替変動による物価上昇、金融資本市場の変動の影響などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの属する映像コンテンツ業界においては、有料動画配信サービス市場でのプラットフォーム間の競争が激化する中で、一部サービスの統廃合などによって販売環境が大きく変化してまいりましたが、その市場は引き続き堅調に成長しており、配信用コンテンツへの需要も高まってきております。一方で、ビデオソフト市場におけるレンタル利用者は急速に減少しており、顧客の映像コンテンツ視聴スタイルはデジタル配信へと着実にシフトしております。また、製造コストの上昇や歴史的な円安による映像使用権の仕入価格上昇など、厳しい事業環境が続いております。

このような情勢下にあつて当社グループでは、中国ドラマ「星が繋ぐ初恋～Here We Meet Again～」 「始まりは君の嘘」、台湾ドラマ「VIP Only」などのアジアドラマ全9作品を発売するとともに、既発売商品の廉価版として「シンプルBOX5,000円シリーズ」を継続的に発売することで、ストックビジネスの強化にも取り組んでまいりました。また、韓国子会社においては、日本の新作TVアニメーションを現地の動画配信プラットフォームに提供するなど、海外における事業拡大に注力してまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は827,766千円（前年同期比14.9%減）、営業損失は112,689千円（前年同期は営業利益31,192千円）、経常損失は121,805千円（前年同期は経常利益27,669千円）、親会社株主に帰属する中間純損失は104,692千円（前年同期は親会社株主に帰属する中間純利益26,340千円）となりました。

なお、当社グループは映像コンテンツ事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当中間連結会計期間末における流動資産の残高は、1,814,905千円（前連結会計年度末は、2,073,103千円）となり258,197千円減少しました。現金及び預金が180,506千円、棚卸資産が75,682千円減少したことが主な要因であります。

(固定資産)

当中間連結会計期間末における固定資産の残高は、213,341千円（前連結会計年度末は、177,800千円）となり35,541千円増加しました。有形固定資産が10,803千円、繰延税金資産が25,268千円増加したことが主な要因であります。

(流動負債)

当中間連結会計期間末における流動負債の残高は、412,775千円（前連結会計年度末は、461,942千円）となり49,167千円減少しました。買掛金が51,650千円、1年内返済予定の長期借入金が12,098千円減少し、その他の流動負債が18,776千円増加したことが主な要因であります。

(固定負債)

当中間連結会計期間末における固定負債の残高は、313,248千円（前連結会計年度末は、395,104千円）となり81,855千円減少しました。長期借入金が89,080千円減少し、退職給付に係る負債が2,475千円、役員退職慰労引当金が4,750千円増加したことが主な要因であります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産の残高は、1,302,222千円（前連結会計年度末は、1,393,856千円）となり91,633千円減少しました。親会社株主に帰属する中間純損失が104,692千円となったことにより利益剰余金が減少したことが要因であります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ180,506千円減少し、474,671千円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は91,087千円（前年同期は18,245千円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前中間純損失121,805千円、売上債権の減少額46,357千円、棚卸資産の減少額76,818千円、仕入債務の減少額51,650千円、その他の支出44,312千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1,552千円（前年同期は5,695千円の獲得）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,500千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は101,179千円（前年同期は76,981千円の使用）となりました。これは、長期借入金の返済による支出101,179千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月15日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	659,177	478,671
売掛金	312,260	267,152
棚卸資産	970,463	894,780
前渡金	64,327	151,046
その他	66,873	23,254
流動資産合計	2,073,103	1,814,905
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	105,490	105,490
機械装置及び運搬具	25,676	25,676
工具器具及び備品	74,175	83,647
減価償却累計額	△186,847	△185,515
有形固定資産合計	18,495	29,298
無形固定資産		
ソフトウェア	100	0
無形固定資産合計	100	0
投資その他の資産		
投資有価証券	6,473	6,473
敷金及び保証金	76,901	76,652
繰延税金資産	73,233	98,501
その他	2,596	2,414
投資その他の資産合計	159,204	184,042
固定資産合計	177,800	213,341
資産合計	2,250,903	2,028,246

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	204,866	153,216
1年内返済予定の長期借入金	190,259	178,161
未払法人税等	4,815	620
その他	62,000	80,777
流動負債合計	461,942	412,775
固定負債		
長期借入金	221,103	132,022
退職給付に係る負債	34,800	37,275
役員退職慰労引当金	139,201	143,951
固定負債合計	395,104	313,248
負債合計	857,046	726,024
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
利益剰余金	1,291,071	1,186,378
株主資本合計	1,391,071	1,286,378
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,785	15,843
その他の包括利益累計額合計	2,785	15,843
純資産合計	1,393,856	1,302,222
負債純資産合計	2,250,903	2,028,246

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	972,720	827,766
売上原価	647,596	632,358
売上総利益	325,123	195,408
販売費及び一般管理費	293,930	308,098
営業利益又は営業損失(△)	31,192	△112,689
営業外収益		
受取利息	49	80
為替差益	1,014	—
補助金収入	—	324
還付加算金	—	119
その他	696	14
営業外収益合計	1,760	538
営業外費用		
支払利息	5,102	3,419
為替差損	—	5,383
店舗閉鎖損	—	685
その他	181	167
営業外費用合計	5,284	9,654
経常利益又は経常損失(△)	27,669	△121,805
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	27,669	△121,805
法人税、住民税及び事業税	3,942	8,155
法人税等調整額	△2,613	△25,268
法人税等合計	1,328	△17,113
中間純利益又は中間純損失(△)	26,340	△104,692
非支配株主に帰属する中間純利益	—	—
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	26,340	△104,692

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益又は中間純損失(△)	26,340	△104,692
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	927	13,058
その他の包括利益合計	927	13,058
中間包括利益	27,267	△91,633
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	27,267	△91,633
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	27,669	△121,805
減価償却費	3,421	4,982
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2,896	2,475
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,750	4,750
敷金償却	675	337
受取利息	△49	△80
支払利息	5,102	3,419
売上債権の増減額(△は増加)	39,155	46,357
棚卸資産の増減額(△は増加)	39,196	76,818
仕入債務の増減額(△は減少)	20,088	△51,650
その他	△105,874	△44,312
小計	37,031	△78,708
利息の受取額	49	80
利息の支払額	△4,345	△3,818
法人税等の還付額	—	3,959
法人税等の支払額	△14,489	△12,600
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,245	△91,087
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△913	△1,500
敷金・保証金の返還による収入	5,297	—
定期預金の払戻による収入	4,000	4,000
定期預金の預入による支出	△4,000	△4,000
その他	1,311	△52
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,695	△1,552
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△76,981	△101,179
財務活動によるキャッシュ・フロー	△76,981	△101,179
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,815	13,313
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△47,224	△180,506
現金及び現金同等物の期首残高	862,573	655,177
現金及び現金同等物の中間期末残高	815,348	474,671

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社及び連結子会社の事業は、映像コンテンツ事業並びにこれらの付帯業務の単一事業であり、その事業が単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。